

平成 30 年度
全国学力・学習状況調査の
結果について



社家小40周年 記念キャラクター
「しゃけっくま」

平成 30 年 12 月
海老名市立社家小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

(1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

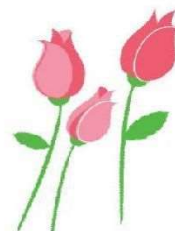
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

(3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



国語に関する調査結果

国語 A (主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。
- 日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う。

《努力を要する所》

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文章を正しく書く。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

国語 B (主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 質問の意図を捉えて、的確に答える。
- 記述式の問題では、正答に近づけて書こうとする意欲が高い。

《努力を要する所》

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして書く。
- 自分の考えを整理し、必要な内容を文章にする。

これまでの取組から

- 友達の話聞き、それを受けて発言することを授業で取り入れてきました。
- 「社家小 話し名人・聞き名人」の合言葉で話したり聞いたりする姿勢を育ててきました。

今後の具体的な取組について

- 振り返りの時間を確保し、自分の考えや学びを整理して文章化する習慣をつけていきます。
- 読書の時間を充実させることによって、表現する力のもとになる語彙力を伸ばしていきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 異種の2つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合を比べる。
- 180° までの角の大きさを理解している。
- 直径の長さと同周の長さの関係について理解している。

《努力を要する所》

- 小数を量感的にとらえ、理解する。
- 小数の式を見て、状況を想像したり、読み取ったりする。



算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 図形の特徴に着目し、分類する。
- 与えられた情報を数理的に処理し、問題解決をする。
- 数量の関係についての考察を式と言葉で示したり、それを問題場面に適用したりする。

《努力を要する所》

- 複数の情報（文章、図、グラフ、表など）から立式したり、計算処理に必要な情報を選択したりする。
- 複数の情報とグラフを関連付けて解釈し、問題解決の過程を言葉や式で表現する。
- 規則性を解釈して、条件に合う事柄について適切に判断する。

これまでの取組から

- 問題場面から課題解決に必要な条件事項を選択し、情報を整理して解決する機会を多く設けてきました。
- 計算タイムや家庭学習等で継続的に既習内容の定着に取り組んできました。
- ノート等を振り返ることで、既習内容を使って自力解決ができるようになってきました。

今後の具体的な取組について

- 問題場面の条件とグラフや式を関連付けて解釈し、問題解決の思考過程を言葉や式で表現する指導を行います。
- 授業中における算数的な活動の充実を図ります。

理科に関する調査結果

《優れている所》

- 実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述する。
- ろ過実験の際に正しい手順で操作する。

《努力を要する所》

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解する。
- 生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想する。
- 記述問題など、自分の考えを整理して文章にまとめる。



これまでの取組から

- 学年に応じて、学校や地域の自然に触れ親しむ活動をしてきました。
- 授業の中で、実験・観察など実際の体験を重視してきました。

今後の具体的な取組について

- 実験・観察したことを文章で表す機会を多く持ちます。
- 国語科などの他教科と関連させながら、文章化するのに必要な語彙力を高めます。
- 困難にぶつかったときでも、キーワードに着目するなどの手立てをとり、あきらめずに取り組む姿勢を養います。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 学校で好きな授業がある児童が多い。
 - ・ 90%を超える児童が「好きな授業がある」と回答している。
 - ・ 約 90%の児童が「国語や算数の勉強が大切」であり、「学習したことは将来役に立つと思う」と回答している。
- 家庭での学習の習慣が身についている。
 - ・ 95%を超える児童が「宿題をしている」と回答している。与えられた課題に対する取り組みが良い。
 - ・ 50%以上の児童が「学校の授業以外に平日 30 分以上読書している」と回答し、本に親しむ児童が多い。

《課題と思われる所》

- 表現活動が苦手な児童が多い。
 - ・ 「授業中(国語科含む)自分の考えを説明したり、文章に書いたりすることが難しい」と回答した児童が半数近くいる。
- 算数の学習を不得手としている児童がいる。
 - ・ 「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が 60%程で県や全国平均を下回っている。

生活について

《よかった所》

- 基本的な生活習慣が、身につけている児童が多い。
 - ・ 95%を超える児童が、ほぼ毎日朝食を食べ、起床時刻も、85%以上の児童がほぼ決まっていると回答している。
- 将来、外国とのつながりを持ちたいと考える児童が多い。
 - ・ 「外国の人と友だちになりたい」と回答した児童が 70%を越えている。また、半数近くの児童が、「将来外国へ留学や、国際的な仕事をしたい」と回答し、全国平均を大きく(10 ポイント以上)上回っている。

《課題と思われる所》

- 地域社会への関わり方が少ない。
 - ・ 「住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童が半数以下である。
 - ・ 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と回答した児童の割合が県や全国平均を下回っている。
- TV・ゲームや携帯電話・スマートフォン等の使用について改善の必要がある。
 - ・ 「約束を守っている」と回答した児童は半数以下で、「時間等の約束事が無い、あるいは、守っていない」と回答した児童がかなり多い。

これまでの取組から

- 今後教科化される「外国語」について、意欲的に学習に取り組めるような授業をめざしてきました。ALT と協同した外国語活動を充実や、インターナショナルスクールとの交流などを通し、児童は、外国に対する関心を高く持っています。
- 全学年で、家庭学習への取り組みを充実させています。宿題等与えられた取り組みは大変良いので、自主的な学習に繋げていくようにします。図書館支援員や図書ボランティアと協力しながら、読書活動の充実を図ってきました。本に親しむ児童は多く、日常の中で読書が習慣化しています。



今後の具体的な取組について

- 「分かる・できる・楽しい授業」をめざします。児童が「学習内容を理解できた」と思えるよう授業の工夫に努めます。計算タイムを継続し基礎学力の定着を図ります。話し合いの方法や文章の書き方などポイントを押さえた指導をすることにより、表現活動の充実をめざします。
- 家庭と連携を図りながら、子どもたちに「生きる力」を身につけさせます。学校での教育活動において、児童の良さを認め励まし、意欲を引き出すような指導をめざします。
- TV・ゲームや携帯電話・スマートフォン等の使用について、ルールを設けるよう啓発していきます。

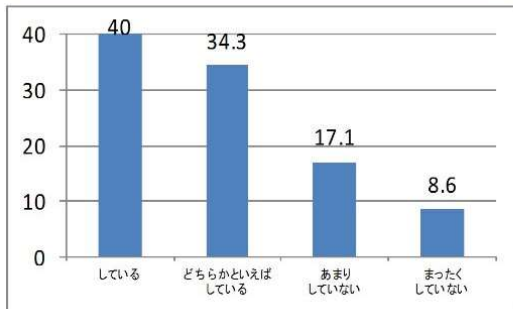
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい5つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 規則正しい生活習慣を心がけましょう。

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身につけることは、学習・体力・気力の向上につながります。

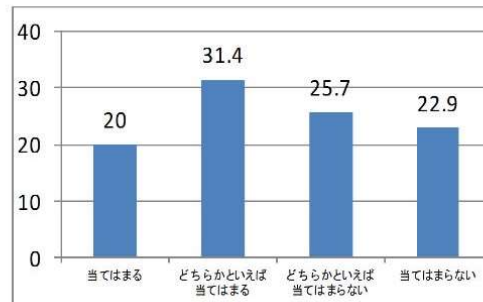
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



2 地域の行事に参加しましょう。

家族で、地域の行事に積極的に参加し交流の輪を広げましょう。

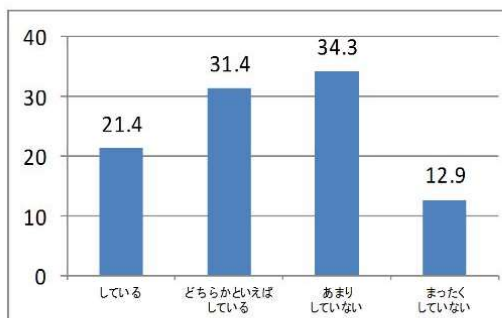
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



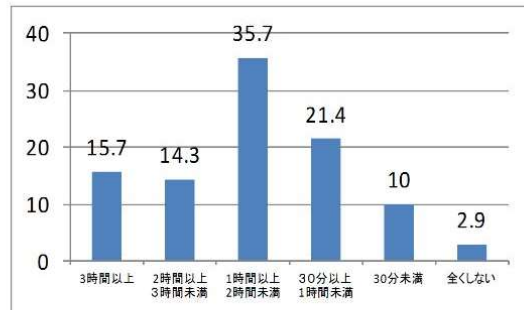
3 計画的に学習に取り組みましょう。

宿題の取り組みは、良好です。予習や復習など自分で計画を立てて学習に取り組めるよう励ましてください。

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



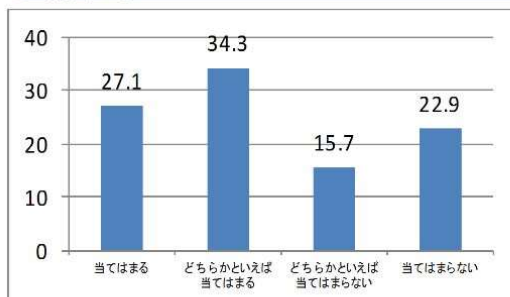
学校の授業時間以外に普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。



4 地域や社会に関心をもって、家庭で話し合しましょう。

地域や社会をよくするために考えてみましょう。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。



5 お子様と学校での出来事について話し合しましょう。

お子様と一緒に話をする機会を作りましょう。

家の人と学校での出来事について話をしますか。



